

臨床研究「インドシアニンググリーン蛍光造影法を用いた

乳頭乳輪温存乳房切除術後の皮膚血流の検討」について

筑波大学附属病院形成外科では、標題の臨床研究を実施しております。

本研究の概要は以下のとおりです。

① 研究の目的

乳頭乳輪温存乳房切除術（以下 NSM）後の乳房再建の合併症として、残存乳頭乳輪や皮膚の壊死が挙げられる。術中にインドシアニンググリーン（以下 ICG）蛍光造影検査を用いることにより、乳房切除後の乳頭乳輪や皮膚の血流を視覚的に評価することができる。診療録および術中 ICG 蛍光造影検査結果を後ろ向きに検討することにより合併症の予後予測を検討する。

② 研究対象者

2018 年 11 月から 2019 年 5 月までに当院で NSM による乳房切除術が施行され、術中 ICG 蛍光造影検査を行い、残存乳頭乳輪および皮膚の血流評価を施行できた患者さん。

③ 研究期間：倫理審査委員会承認後～2021 年 12 月 31 日まで

③ 研究の方法

②研究対象者の診療録、術中 ICG 蛍光造影検査結果、術後乳頭乳輪・皮膚壊死の有無を後ろ向きに調査する。

⑤ 試料・情報の項目（具体的に記載すること）

ICG 蛍光造影検査結果、診療録

⑥ 試料・情報の管理について責任を有する者

佐々木正浩、形成外科、病院講師

⑦ 研究により得られた結果の取扱い

結果の説明は行いません。

研究対象者等の健康状態等を評価するような情報が得られることはありません。

⑧ 本研究への参加を希望されない場合

患者さんやご家族（ご遺族）が本研究への参加を希望されず、情報の利用又は提供の停止を希望される場合は、下記の問い合わせ先へご連絡ください。すでに研究結果が公表されている場合など、ご希望に添えない場合もございます。

⑨ 問い合わせ連絡先

筑波大学附属病院：〒305-8576 茨城県つくば市天久保 2-1-1

所属・担当者名：形成外科 佐々木正浩

電話 029-853-3122（形成外科医局：平日 9 時～17 時）